



炭澤煉瓦

きかせて江別の気になる話

ウワサの炭鉄港

江別歴史観光学習会

「炭鉄港」という言葉をきいたことがありますか？

北海道の開拓の中核となったエネルギー「石炭」。そこから派生していく「鉄鋼」「港湾」「鉄道」、これらのストーリーが北の産業革命「炭鉄港」なのです。炭鉄港は2019年に日本遺産に認定されています。その「炭鉄港」の構成文化財に「江別のれんが」が仲間入りしたことを知っていましたか？炭鉄港ってなに？江別とどんな関わりが？きけばきくほど知りたくなる「炭鉄港」のお話を、2名の講師から学びます。

日時

令和7年

3/26

13:30~15:30
(受付開始13:00)

水

場所

江別市
セラミックアートセンター
(江別市西野幌114-5)

内容

講演第1部 13:30-14:20
江別における「炭鉄港」とは？
講師：セラミックアートセンター学芸員
兼平一志氏

講演第2部 14:30-15:15
北海道の炭鉄港、
おもしろ歴史散歩
講師：街歩き研究家
和田哲氏(ブラサトル)

講師



街歩き研究家
和田 哲(わだ・さとる)

1972年札幌市生まれ。市電沿線で電車を毎日見ながら育つ。札幌旭丘高校、日本大学法学部卒業後、広告代理店や地元情報誌「O.tone」編集者を経て独立。古地図や古写真、道路のずれから札幌の歴史をひもとく、雑誌連載やYouTube、講演活動などで発信している。2015年にNHK「プラタモリ」札幌編で2人目の案内人を務め、現在は地元テレビやHBCラジオ「朝刊さくらい」(毎週金曜日)などに出演中。北海道科学大学客員教授。著書は「古地図と歩く札幌圏」シリーズ(あるた出版/2020年~)。

お申込

3月25日(火)までに下記申込
先に電話またはフォームにてお申
込みください。申込の際は①お名前
②お電話番号をお知らせください。

電話から 090-6444-3780
(10:00-17:00)

フォームから

